

科目名	情報リテラシー1 (Word)		教員名	新川 涼子	配当年次	1年
実務教員	○	実務教員の紹介	過去の研究ではC++で音感教育アプリの開発をしていました。現在の研究では、Scratchの指導方法の研究、Excel動画教材のユーザビリティ、保育ICTシステムのユーザビリティについて研究しています。教員としての業務上はExcelVBAを用いて統計処理、成績に関する帳票管理などを行っています。			

## 1. 授業概要 (授業方法: 講義)

Windowsの基本操作、タッチタイピング、ビジネス文書の基礎から応用までの技能を学習します。  
Word文書処理技能認定試験3級の取得を目指します。

## 2. 授業計画 (1時限 50 分×授業回数 33 回 = 総授業時数 1650 分)

1	タイピング練習	16	Word3級 練習問題2
2	タイピング練習	17	Word3級 練習問題2
3	ビジネス文書の基本 ページ設定、文字編集	18	Word3級 練習問題3
4	演習問題	19	Word3級 練習問題3
5	表入りビジネス文書	20	Word3級 模擬問題1
6	練習問題	21	Word3級 模擬問題1
7	画像の挿入、タブとリーダー	22	Word3級 模擬問題2
8	練習問題	23	Word3級 模擬問題2
9	印刷設定、その他高度な設定	24	Word3級 模擬問題3
10	練習問題	25	Word3級 模擬問題3
11	はがきの作成	26	Word3級 模擬問題4
12	差し込み印刷	27	Word3級 模擬問題5
13	練習問題	28	Word3級 模擬問題6
14	Word3級 練習問題1	29	Word3級 模擬問題7 検定リハーサル
15	Word3級 練習問題1	30	Word文書処理技能認定試験3級 検定実施

## 3. 評価方法

毎回の授業時の課題30%、検定の試験点数70%

## 4. テキスト・参考文献等 (書名・著者名・出版社)

Word文書処理技能認定試験 3級問題集(2019対応)、編著：サーティファイソフトウェア  
活用能力認定委員会、発行：サーティファイ

## 5. その他・特記事項

タイピングが苦手な人は、自宅などで練習しましょう (タイピングゲームは楽しく練習できます)

科目名	情報リテラシー2 (Excel)		教員名	新川 涼子	配当年次	1年
実務教員	○	実務教員の紹介	過去の研究ではC++で音感教育アプリの開発をしていました。現在の研究では、Scratchの指導方法の研究、Excel動画教材のユーザビリティ、保育ICTシステムのユーザビリティについて研究しています。教員としての業務上はExcelVBAを用いて統計処理、成績に関する帳票管理などを行っています。			

## 1. 授業概要 (授業方法: 講義)

Excelでのデータ入力の基本、表編集、計算式の入力、関数、グラフなどExcelの基本的な技能を学習し、Excel表計算処理技能認定試験3級の取得を目指します。

## 2. 授業計画 (1時限 50 分×授業回数 30 回 = 総授業時数 1500 分)

1	エクセルでのデータ入力、合計、平均	16	Excel3級 練習問題2
2	掛け算、表編集、練習問題	17	Excel3級 練習問題3
3	MAX、MIN、COUNT、RANK.EQ関数	18	Excel3級 練習問題3
4	練習問題	19	Excel3級 模擬問題1
5	割合の計算、演習問題	20	Excel3級 模擬問題1
6	練習問題	21	Excel3級 模擬問題2
7	グラフ作成1	22	Excel3級 模擬問題2
8	グラフ作成2	23	Excel3級 模擬問題3
9	ROUND、ROUDUP,ROWNDDOWN関数	24	Excel3級 模擬問題3
10	練習問題	25	Excel3級 模擬問題4
11	IF関数、IF関数のネスト	26	Excel3級 模擬問題4
12	練習問題	27	Excel3級 模擬問題5
13	Excel3級 練習問題1	28	Excel3級 模擬問題6
14	Excel3級 練習問題1	29	Excel3級 模擬問題7 リハーサル
15	Excel3級 練習問題2	30	Excel表計算処理技能認定試験3級 検定実施

## 3. 評価方法

毎回の授業時の課題30%、検定の試験点数70%

## 4. テキスト・参考文献等 (書名・著者名・出版社)

Excel表計算処理技能認定試験 3級問題集(2019対応)、編著：サーティファイソフトウェア活用能力認定委員会、発行：サーティファイ

## 5. その他・特記事項

科目名	情報リテラシー3 (PowerPoint)		教員名	新川 涼子	配当年次	1年
実務教員	○	実務教員の紹介	過去の研究ではC++で音感教育アプリの開発をしていました。現在の研究では、Scratchの指導方法の研究、Excel動画教材のユーザビリティ、保育ICTシステムのユーザビリティについて研究しています。教員としての業務上はExcelVBAを用いて統計処理、成績に関する帳票管理などを行っています。			

## 1. 授業概要 (授業方法: 講義)

スライドのテーマ、バリエーションの適用、箇条書きテキストの段落下げ、表の編集、図の挿入、スライドの切り替え効果などPowerPointの基本操作を学習し、PowerPointプレゼンテーション技能認定試験初級の取得を目指します。

## 2. 授業計画 (1時限 50 分×授業回数 30 回 = 総授業時数 1500 分)

1	PowerPointの基本操作	16	PowerPoin初級 練習問題2
2	練習問題	17	PowerPoin初級 練習問題2
3	表の編集、スタイルの適用	18	PowerPoin初級 練習問題3
4	練習問題	19	PowerPoin初級 練習問題3
5	図の挿入 (SmartArtグラフィックなど)	20	PowerPoin初級 模擬問題1
6	練習問題	21	PowerPoin初級 模擬問題1
7	練習問題	22	PowerPoin初級 模擬問題2
8	スライドの画面切り替え効果、アニメーション	23	PowerPoin初級 模擬問題2
9	練習問題	24	PowerPoin初級 模擬問題3
10	紹介したい観光地について情報を取得	25	PowerPoin初級 模擬問題3
11	紹介したい観光地のスライド作成1	26	PowerPoin初級 模擬問題4
12	紹介したい観光地のスライド作成2	27	PowerPoin初級 模擬問題4
13	紹介したい観光地のスライド 発表会	28	PowerPoin初級 模擬問題5 検定リハーサル
14	PowerPoin初級 練習問題1	29	PowerPoin初級 模擬問題5 検定リハーサル
15	PowerPoin初級 練習問題1	30	PowerPointプレゼンテーション技能認定試験初級 検定実施

## 3. 評価方法

毎回の授業時の課題30%、検定の試験点数70%

## 4. テキスト・参考文献等 (書名・著者名・出版社)

PowerPointプレゼンテーション技能認定試験問題集 (2019対応)、  
編著：サーティファイソフトウェア活用能力認定委員会、発行：サーティファイ

## 5. その他・特記事項

科目名	公務研究 I		教員名	清水 敦志	配当年次	1年
実務教員	○	実務教員の紹介	地域間連携による持続可能な地域商業活性化の仕組みづくり、地域ビジネス力強化支援事業のプロジェクトマネージャー、農山漁村振興推進計画（地域活性化対策）等、地域活性化事業に携わる。			

### 1. 授業概要（授業方法： 講義 ）

●課題解決型学習プロセスと学習プログラム：－地域の調べ方と話し合いの基礎力－  
那覇市泊地域に目を向け、地域の課題を調べ把握することを通して、地域への眼差しを持った未来を切り拓くことのできる人材を育成すること。

### 2. 授業計画（1時限 50 分×授業回数 33 回 = 総授業時数 1650 分）

- 1 地域の調べ方と話し合いの基礎力
  - 1-1 導入・オリエンテーション
  - 1-2 「協働による地域づくりのプロセス」の理解
  - 1-3 参加者自己紹介
  - 1-4 チームづくりとテーマ設定
  - 1-5 テーマについての地域資源と課題だし
  - 1-6 ワーク「日頃の現場での話し合いについてのお悩み共有」
  - 1-7 話し合いの場づくりのための「3つのデザイン」
  - 1-8 講義「話し合いの場の進め方～基礎スキル～」
- 2 地域インタビュー
  - 2-1 フィールドワーク
  - 2-2 中間発表
  - 2-3 調べたことの発表
- 3 地域コミュニティー：マチグワー楽会へ参加

### 3. 評価方法

調べたことの発表：地域包括支援センター泊、沖縄県中小企業家同友会政策委員長などとの意見交換会

### 4. テキスト・参考文献等（書名・著者名・出版社）

「ファシリテーション革命」 中野民夫著／岩波アクティブ新書 2003年  
「組織を動かすファシリテーションの技術」堀公俊著／PHP 研究所、2004年  
引用：「問いかけの作法」著：安齋勇樹

### 5. その他・特記事項

科目名	情報リテラシー5 (Excel上級)		教員名	新川 涼子	配当年次	2年
実務教員	○	実務教員の紹介	過去の研究ではC++で音感教育アプリの開発をしていました。現在の研究では、Scratchの指導方法の研究、Excel動画教材のユーザビリティ、保育ICTシステムのユーザビリティについて研究しています。教員としての業務上はExcelVBAを用いて統計処理、成績に関する帳票管理などを行っています。			

## 1. 授業概要 (授業方法: 講義)

1年次にExcel表計算処理技能認定試験3級の対策を行い、2年次ではExcel表計算処理技能認定試験2級の対策を行います。2級は、3級にはない知識試験があり、実技に関しても高度な機能を使います。まずはクイックマスターで個々の技能を習得し模擬問題で練習を繰り返しましょう。

## 2. 授業計画 (1時限 50 分×授業回数 30 回 = 総授業時数 1500 分)

1	入力規則1	21	知識練習問題6、7
2	入力規則2	22	2級模擬問題1 実技
3	入力規則3	23	2級模擬問題1 実技
4	文字列操作関数 RIGHT、LEFT、MID	24	2級模擬問題1 知識
5	検索関数 VLOOKUP、HLOOKUP、INDEX	25	2級模擬問題2 実技
6	データベース関数 DAVERAGE、DSUM、DMAX、DMIN	26	2級模擬問題2 実技
7	関数の練習問題	27	2級模擬問題2 知識
8	データベースの抽出、小計	28	2級模擬問題3 実技
9	ピボットテーブル	29	2級模擬問題3 実技
10	マクロの記録	30	2級模擬問題3 知識
11	マクロの練習問題	31	2級模擬問題4 実技
12	ゴールシーク	32	2級模擬問題4 実技
13	2級実技練習問題1	33	2級模擬問題4 知識
14	2級実技練習問題1	34	Excel表計算技能認定試験2級 リハーサル 知識
15	知識練習問題1、2	35	Excel表計算技能認定試験2級 リハーサル 実技
16	2級実技練習問題2	36	総復習
17	2級実技練習問題2	37	Excel表計算技能認定試験2級 実施
18	知識練習問題3、4、5	38	Excel表計算技能認定試験2級 実施
19	2級実技練習問題3	39	Excel表計算技能認定試験2級 実施
20	2級実技練習問題3		

## 3. 評価方法

毎回の授業時の課題30%、検定の試験点数70%

## 4. テキスト・参考文献等 (書名・著者名・出版社)

Excel2016 クイックマスター <応用編>,ウイネット,ウイネット  
Excel®表計算処理技能認定試験 1・2級問題集(2019対応),  
サーティファイソフトウェア活用能力認定委員会,サーティファイ

## 5. その他・特記事項

科目名	情報リテラシー4 (プログラミング)		教員名	新川 涼子	配当年次	2年
実務教員	○	実務教員の紹介	過去の研究ではC++で音感教育アプリの開発をしていました。現在の研究では、Scratchの指導方法の研究、Excel動画教材のユーザビリティ、保育ICTシステムのユーザビリティについて研究しています。教員としての業務上はExcelVBAを用いて統計処理、成績に関する帳票管理などを行っています。			

## 1. 授業概要 (授業方法: 講義)

Scratchによりプログラミングを学習します。アルゴリズムを理解しコードを記述することを通して論理的思考を身に着けます。ジュニアプログラミング検定のブロンズ級、シルバー級の検定対策、コードのアレンジの方法を学び基本を習得します。最終課題では、オリジナルのゲームを作成します。

## 2. 授業計画 (1時限 50 分×授業回数 30 回 = 総授業時数 1500分)

1	ブロンズ級の例題作成1	16	シルバー級の課題作成2
2	ブロンズ級の例題作成2	17	シルバー級の課題作成3、アレンジ
3	ブロンズ級の課題作成1	18	クイズゲーム設計
4	ブロンズ級の課題作成2、アレンジ	19	クイズゲーム作成1
5	ひつじ河渡りゲームの作成1	20	クイズゲーム作成2
6	ひつじ河渡りゲームの作成2	21	ジュニアプログラミング検定 シルバー級 検定実施
7	お散歩プログラム設計	22	かえるになったナイト 例題部分作成1
8	お散歩プログラム作成1	23	かえるになったナイト 例題部分作成2
9	お散歩プログラム作成2	24	かえるになったナイトのその後 設計
10	ジュニアプログラミング検定 ブロンズ級 検定実施	25	かえるになったナイトのその後プログラム作成1
11	シルバー級の例題作成1	26	かえるになったナイトのその後プログラム作成2
12	シルバー級の例題作成2	27	自由課題 シューティングゲーム設計
13	シルバー級の例題作成3	28	自由課題 シューティングゲームプログラム作成1
14	シルバー級の例題作成4	29	自由課題 シューティングゲームプログラム作成2
15	シルバー級の課題作成1	30	オリジナルゲームの発表会

## 3. 評価方法

テキストの例題、課題プログラム作成15%、その他の課題15%  
 ジュニアプログラミング検定ブロンズ級の成績35%、  
 ジュニアプログラミング検定シルバー級の成績35%

## 4. テキスト・参考文献等 (書名・著者名・出版社)

Scratch 3.0で楽しむレッツ! プログラミングジュニア・プログラミング検定 公式テキスト  
 富士通エフ・オー・エム株式会社 (著)、FOM出版

## 5. その他・特記事項

--

科目名	公務研究Ⅱ		教員名	清水 敦志	配当年次	2年
実務教員	○	実務教員の紹介	地域間連携による持続可能な地域商業活性化の仕組みづくり、地域ビジネス力強化支援事業のプロジェクトマネージャー、農山漁村振興推進計画（地域活性化対策）等、地域活性化事業に携わる。			

## 1. 授業概要（授業方法： 講義 ）

●課題解決型学習プロセスと学習プログラム：－地域の調べ方と話し合いの基礎力－  
那覇市泊地域に目を向け、地域の課題を調べ把握することを通して、地域への眼差しを持った未来を切り拓くことのできる人材を育成すること。

## 2. 授業計画（1時限 50 分×授業回数 40 回＝総授業時数 2000 分）

- 1 地域の調べ方と話し合いの基礎力
  - 1-1 導入・オリエンテーション
  - 1-2 「協働による地域づくりのプロセス」の理解
  - 1-3 参加者自己紹介
  - 1-4 チームづくりとテーマ設定
  - 1-5 テーマについての地域資源と課題だし
  - 1-6 ワーク「日頃の現場での話し合いについてのお悩み共有」
  - 1-7 話し合いの場づくりのための「3つのデザイン」
  - 1-8 講義「話し合いの場の進め方～基礎スキル～」
- 2 地域インタビュー
  - 2-1 フィールドワーク
  - 2-2 中間発表
  - 2-3 調べたことの発表
- 3 地域コミュニティ：マチグワー楽会へ参加

## 3. 評価方法

調べたことの発表：地域包括支援センター泊、沖縄県中小企業家同友会政策委員長などとの意見交換会

## 4. テキスト・参考文献等（書名・著者名・出版社）

「ファシリテーション革命」 中野民夫著／岩波アクティブ新書 2003年  
 「組織を動かすファシリテーションの技術」堀公俊著／PHP 研究所、2004年  
 引用：「問いかけの作法」著：安齋勇樹

## 5. その他・特記事項

--

科目名	経済学		教員名	仲嶺 望	配当年次	3年
実務教員	○	実務教員の紹介	株式会社東日本キヨスク(現JR東日本リテールネット)の新宿支店新宿駅の学生社員として5年、尚学院小・中学部JPS(5教室運営)の管理部長として4年、予算管理、在庫管理、計数管理を担当。その経験を活かして、経済学(ミクロ・マクロ)を身近な問題を例にしながらわかりやすく指導していきます。			

## 1. 授業概要 (授業方法: 講義)

経済学分野における最大の主要科目であるミクロ経済学・マクロ経済学を、身近な具体例を挙げて概要を説明し、丸暗記ではなく、確実に基本的な理論や考え方を身につけ、効率的にマスターすること。

前期では、大学卒業程度の学生が確実にマスターすることが求められる、「教養レベル」の内容をテキストを中心に授業を進め、各単元終了ごとに知識問題・計算問題を反復学習していきます。

後期では、ミクロ経済学、マクロ経済学を中心に、財政学、国際経済学といった理論系問題、経済事情(日本経済や世界経済)や財政制度・事情などの時事系問題のマスターを目指します。「教養レベル」で学んだ基礎項目を土台として、専門科目の中のミクロ経済学・マクロ経済学内容を単元終了ごとに知識問題・計算問題を反復学習していきます。

## 2. 授業計画 (1時限 50分×授業回数 60回＝総授業時数 3000分)

1	ミクロ経済学を学習する前の準備	21	パレート最適(実践)
2	需要と供給(基礎)	22	ミクロの貿易理論(実践)
3	家計の行動(基礎)	23	マクロ経済学の数学
4	企業の行動(基礎)	24	GDPと景気(実践)
5	企業の行動(基礎)	25	ケインズの乗数理論(実践)
6	企業の行動(基礎)	26	IS-LM曲線(実践)
7	市場の失敗	27	AD-AS曲線とフィリップス曲線
8	ミクロの貿易論(基礎)	28	IAD-IAS曲線
9	マクロ経済学を学習する前の準備	29	経済成長理論
10	GDPと景気(基礎)	30	マンデル＝フレミングの世界
11	景気対策	31	
12	ケインズの乗数理論(基礎)	32	
13	IS-LM分析(基礎)	33	
14	貿易と海外投資(基礎)	34	
15	ミクロ経済学の数学	35	
16	需要と供給(実践)	36	
17	家計の行動(実践)	37	
18	企業の行動(実践)	38	
19	独占と寡占	39	
20	余剰分析	40	

## 3. 評価方法

出席率・授業態度50%、模擬試験正答率50%

## 4. テキスト・参考文献等 (書名・著者名・出版社)

書名	著者名	出版社
公務員試験最初でつまづかない経済学(ミクロ編)	村尾 英俊	実務教育出版
公務員試験最初でつまづかない経済学(マクロ編)		

## 5. その他・特記事項

普段の生活の中で新聞やニュースを見る程度の知識、足し算や掛け算といった簡単な計算ができれば、それを合格レベルにまで築き上げるための基礎をしっかりと固めていきましょう。



科目名	公務員試験対策Ⅲ (法学)		教員名	仲嶺 望	配当年次	3年
実務教員	○	実務教員の紹介	学校法人尚学院の事務局長として法務、総務、経理等を担当。その経験を活かして、法律問題を身近な問題を例にしながらわかりやすく指導していきます。2022年行政書士試験合格。			

## 1. 授業概要 (授業方法: 講義・演習)

公務員試験出題範囲における専門科目(憲法・民法Ⅰ)について知識の習得と過去問を踏まえて問題演習を行い、公務員試験出題数に対して8割以上の正答率を目指す。インプット(講義)とアウトプット(演習)のバランスを重視し、出題に対する知識の習熟を図る。憲法に関しては、人権と統治の頻出論点を重点に授業を進める。民法に関しては、総則と物権の頻出論点を重点に授業を進める。

## 2. 授業計画 (1時限 50 分×授業回数 45 回 = 総授業時数 2250 分)

1	日本国憲法の基本原理	1 5	総則⑤-代理(無権代理)
2	基本的人権総論(天皇等)	1 6	総則⑥-代理(表見代理)
3	幸福追求権・法の下での平等	1 7	総則⑦-条件・期限・期間
4	自由権①(精神的自由権)	1 8	総則⑧-時効(取得時効・消滅時効)
5	自由権②(経済的自由権・人身の自由)	1 9	物権①-不動産物権変動
6	社会権・参政権・受益権	2 0	物権②-動産物権変動
7	国会(衆議院・参議院)	2 1	物権③-占有権
8	内閣(内閣総理大臣・国务大臣)	2 2	物権④-所有権
9	裁判所(最高裁判所・下級裁判所)	2 3	物権⑤-法定担保物権(留置権)
1 0	財政・地方自治・憲法改正	2 4	物権⑥-法定担保物権(先取特権)
1 1	総則①-民法の意義、権利と義務	2 5	物権⑦-約定担保物権(質権)
1 2	総則②-権利能力・行為能力	2 6	物権④-約定担保物権(抵当権)
1 3	総則③-意思表示		
1 4	総則④-法人・権利なき社団		

## 3. 評価方法

出席率・授業態度50%、試験正答率50%

## 4. テキスト・参考文献等(書名・著者名・出版社)

公務員試験過去問トレーニング 伊藤塾のこれで完成 憲法(KADOKAWA)

公務員試験過去問トレーニング 伊藤塾のこれで完成 民法(KADOKAWA)

## 5. その他・特記事項

科目名	公務員試験対策Ⅲ (経済学)		教員名	仲嶺 望	配当年次	3年
実務教員	○	実務教員の紹介	株式会社東日本キヨスク(現JR東日本リールネット)の新宿支店新宿駅の学生社員として5年、尚学院小・中 学部JPS(5教室運営)の管理部長として4年、予算管理、在庫管理、計数管理を担当。その経験を活かして、 経済原論(ミクロ・マクロ)を身近な問題を例にしながらわかりやすく指導していきます。			

## 1. 授業概要 (授業方法: 講義・演習)

どの公務員試験(大卒程度)の専門科目にも出題される、ミクロ経済学、マクロ経済学を中心に、財政学、国際経済学といった理論系問題、経済事情(日本経済や世界経済)や財政制度・事情などの時事系問題のマスターを目指します。「教養試験レベル」で学んだ基礎項目を土台として、専門試験の中のミクロ経済学・マクロ経済学内容を単元終了ごとに知識問題・計算問題を反復学習していきます。

## 2. 授業計画 (1時限 50 分×授業回数 30 回 = 総授業時数 1500 分)

- |                 |                      |
|-----------------|----------------------|
| 1. ミクロ経済学の数学    | 9. マクロ経済学の数学         |
| 2. 需要と供給(実践)    | 10. GDPと景気(実践)       |
| 3. 家計の行動(実践)    | 11. ケインズの乗数理論(実践)    |
| 4. 企業の行動(実践)    | 12. IS-LM曲線(実践)      |
| 5. 独占と寡占        | 13. AD-AS曲線とフィリップス曲線 |
| 6. 余剰分析         | 14. IAD-IAS曲線        |
| 7. パレート最適(実践)   | 15. 経済成長理論           |
| 8. ミクロの貿易理論(実践) | 16. マンデル=フレミングの世界    |

## 3. 評価方法

出席率・授業態度50%、模擬試験正答率50%

## 4. テキスト・参考文献等(書名・著者名・出版社)

公務員試験最初でつまづかない経済学(ミクロ編)・(マクロ編) (実務教育出版)

## 5. その他・特記事項

普段の生活の中で新聞やニュースを見る程度の知識、足し算や掛け算といった簡単な計算ができれば、それを合格レベルにまで築き上げるための基礎をしっかりと固めていきましょう。

科目名	公務員試験対策IV (法学)		教員名	仲嶺 望	配当年次	4年
実務教員	○	実務教員の紹介	学校法人尚学院の事務局長として法務、総務、経理等を担当。その経験を活かして、法律問題を身近な問題を例にしながらわかりやすく指導していきます。2022年行政書士試験合格。			

## 1. 授業概要 (授業方法: 講義・演習)

昨年度に引き続き、公務員試験出題範囲における専門科目(行政法)について知識の習得と過去問を踏まえて問題演習を行い、公務員試験出題数に対して8割以上の正答率を目指す。インプット(講義)とアウトプット(演習)のバランスを重視し、出題に対する知識の習熟を図る。また、行政法修了後、憲法、民法、行政法の過去問演習を行う。

## 2. 授業計画 (1時限 50 分×授業回数 30 回 = 総授業時数 1500 分)

1	法律による行政の原理	公法・私法の交錯	15	行政不服審査法	総説
2	行政組織		16	行政不服審査法	類型・要件
3	行政立法		17	行政不服審査法	手続・終了
4	行政計画		18	行政事件訴訟法	総説
5	行政裁量		19	行政事件訴訟法	訴訟選択
6	行政行為	総説・効力	20	行政事件訴訟法	取消訴訟
7	行政行為	瑕疵ある行為	21	国家賠償法	
8	行政上の強制措置		22	地方自治法	総説
9	行政手続法	総説	23	地方自治法	住民自治
10	行政手続法	申請に対する処分	24	地方自治法	団体自治
11	行政手続法	不利益処分	25	行政法	過去問演習
12	行政手続法	行政指導	26	憲法	過去問演習
13	行政指導	中止等の求め・処分等の求め	27	民法	過去問演習
14	行政手続法	意見公募手続			

## 3. 評価方法

出席率・授業態度50%、試験正答率50%

## 4. テキスト・参考文献等 (書名・著者名・出版社)

公務員試験過去問トレーニング 伊藤塾のこれで完成 行政法 (KADOKAWA)

公務員試験過去問トレーニング 伊藤塾のこれで完成 憲法 (KADOKAWA)

公務員試験過去問トレーニング 伊藤塾のこれで完成 民法 (KADOKAWA)

## 5. その他・特記事項

授業シラバス

科目名	ビジネス応用			担当講師	福里律子		
実施期間	前期	学年	2年	曜日時限		時間数	40
実務教員の紹介	中国に2年間留学し、帰国後は日本語学校に勤務し、来日を希望する中国人留学生たちの申請書類の翻訳業務などに従事しました。市民教室などで初心者向けの講座や中国や台湾に旅行へ行きたい方々への個人レッスンの経験もあります。						
授業内容と方法（講義）							
授業は講義形式で行うが、グループワークや発表などの活動も取り入れる。							
到達目標							
(1) 「何のために学ぶか」、「到達目標=就職」を確認する。 (2) 「今、何をすべきか」を意識させ、学習へのモチベーションを高める。							
評価基準と評価方法							
(1) 定期試験（50%） (2) 課題（30%） (3) 授業への参加度・積極性（20%）							
授業計画							
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 目標設定</li> <li>● 自己紹介</li> <li>● 業界・業種・職種</li> <li>● 勤務の条件</li> <li>● 自己PR</li> <li>● 志望動機</li> <li>● 履歴書・送付状</li> <li>● 面接の受け方</li> <li>● 異文化理解</li> <li>● 日本の地理</li> <li>● プレゼンテーション</li> <li>● チームビルディング</li> <li>● ケーススタディ①</li> <li>● ケーススタディ②</li> <li>● 報告・連絡・相談</li> <li>● 期末試験</li> </ul>							
使用テキスト							
「伸ばす！就職能力・ビジネス日本語能力」							
使用言語							
日本語							

授業シラバス

科目名	ビジネス応用			担当講師	福里律子		
実施期間	後期	学年	2年	曜日時限		時間数	40
実務教員の紹介	中国に2年間留学し、帰国後は日本語学校に勤務し、来日を希望する中国人留学生たちの申請書類の翻訳業務などに従事しました。市民教室などで初心者向けの講座や中国や台湾に旅行へ行きたい方々への個人レッスンの経験もあります。						
授業内容と方法（講義）							
授業は講義形式で行うが、グループワークや発表などの活動も取り入れる。							
到達目標							
<p>(1) 「何のために学ぶか」、「到達目標＝就職」を確認する。</p> <p>(2) 今まで学んだことを整理し、ビジネス敬語の知識を深め、実際に使うことができるようにする。</p> <p>(3) ロールプレイングを中心に、適切な立ち振る舞いや表現を身につける。</p>							
評価基準と評価方法							
<p>(1) 定期試験（50%）</p> <p>(2) 課題（30%）</p> <p>(3) 授業への参加度・積極性（20%）</p>							
授業計画							
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 敬語</li> <li>● 挨拶</li> <li>● 電話を受ける</li> <li>● 電話をかける</li> <li>● 電話 アポイントを取る</li> <li>● 訪問</li> <li>● 会議</li> <li>● ビジネスメール</li> <li>● 期末試験</li> </ul>							
使用テキスト							
「伸ばす！就職能力・ビジネス日本語能力」							
使用言語							
日本語							